

2022年度 事業計画報告

方針

法人の基本姿勢、基本理念達成を推進する為、事業計画の策定をする。

- ・利用者が、安心して生活できるよう、個々のニーズにあったサービス提供
職員の質の向上に寄与できるよう教育体系の確立。
地域住民のとの交流を行うことにより、地域のニーズを分析し、そのニーズに応えられるようサービス内容の充実を確立していく。

目標

1 良質な介護の提供

- ・ 介護サービスの質の向上
観察力・介護力の向上、記録整備力の向上を図る。
気づき・発見時の敏速行動、職員全体の介護力の向上
基本は概ね出来てきたが、慣れの為の気のゆるみなどの事例がみられる。
インシデント件数、全体で17減、特養では7件減、ショートステイ3件減
デイサービス6件減、グループホーム1件減
転倒について、全体で6件減、特養3件減、ショートステイ1件増
剥離 全体で1件減。打撲 全体で3件減。
離院・離棟、本年度各2件あり、より対応策を練り安全に努める必要がある。

介護事故報告事項 全体で13件

特別養護老人ホーム 8件、ショートステイ 3件 グループホーム 2件
頭部打撲の転倒、骨折、外傷、敷地外の離棟、誤薬

- ・ 介護サービス安全の推進
服薬マニュアル・手順 指差し呼称を行っていれば防ぐことができた
誤薬の発生が、昨年引き続きあった。

・ インシデント総件数	34件
特別養護老人ホーム	14件
ショートステイ	6件
デイサービス	2件
グループホーム	11件
栄養・調理	1件

領域別分類件数

転倒転落	27件
特別養護老人ホーム	11件
ショートステイ	5件
デイサービス	1件
グループホーム	11件

剥離	2件
特別養護老人ホーム	2件
ショートステイ	0件
デイサービス	0件
グループホーム	0件

打撲	1件
特別養護老人ホーム	0件
ショートステイ	0件
デイサービス	1件
グループホーム	0件

離院・離棟	2件
特別養護老人ホーム	1件
ショートステイ	1件
デイサービス	0件
グループホーム	0件

栄養・調理	1件
誤配膳	1件

介護事故報告事項	13件
頭部打撲の転倒	3件（特別養護老人ホーム 3件）
骨折	4件（特別養護老人ホーム 1件） （ショートステイ 1件） （グループホーム 2件）
外傷	1件（特別養護老人ホーム 1件）
敷地外の離棟	1件（特別養護老人ホーム 1件）
誤薬	4件（特別養護老人ホーム 2件） （ショートステイ 2件）
誤薬については服薬マニュアルを厳守していなかった為に、発生した。 服薬マニュアルの徹底、マニュアルどおりの配役・服薬介助を行う。	

- ・感染管理の推進

- インフルエンザ

- 本年は、インフルエンザの感染は、ほとんど無かった。

- 新型コロナウイルス

- 予防対策 面会禁止・マスク着用の徹底

- 感染予防 標準予防策の徹底 手指衛生の徹底

- 出勤前体温測定の徹底 行動記録の徹底に努めたが。

- 新型コロナウイルス感染事例が発生した。

- 特別養護老人ホームでは、職員からの感染と思われる事例から、3年目にして初めて、クラスター発生となった。

- ショートステイ受入れを中止した。

- デイサービス利用者が、他施設利用している施設でクラスター発生し、デイサービス利用者にも感染発生事例となり。デイ休業の処置となった。

- ・研修会の充実

- 重点項目 高齢者虐待・身体拘束廃止・認知症ケア・感染拡大防止

- 施設内外の研修会への出席は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症予防の観点から、施設外研修の機会が少なく、リモートでの外部研修など、今まで

とは研修環境に大きな変革があった。その為、施設内研修の回数が増えた。
又、例年の山田講師の研修会も、後半期からリモートでの開催を試みた。
高齢者虐待・身体拘束廃止、服薬・投薬、今後も重点課題である。
認知症の認識、事故発生防止等、重点研修施設内研修。

研修会出席人数

施設内研修 研修受講者 412人

全体研修 本年度なし

施設外研修 0人

- ・ チーム介護の確立
施設内多職種との連携情報交換・協力体制はできている。
高知県安心ネットワーク稼働について、機能していない。
- ・ 地域における介護体制の充実
関係機関・ご家族等との連携は概ね出来てきた。
- ・ 地域関係機関との連携
福祉避難所運営訓練 感染拡大防止の観点から、机上訓練実施
高知県 「安心ネットワーク」参加
接続は出来ているが、十分機能していない
- ・ 地域との関わり・連携
本年は、地域の行事も、昨年引き続き開催中止となった。
本年も、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、対面の機会が制限され、
十分なコミュニケーションが取れなかった一年であった。

2 良質な介護サービス提供の為の教育の充実

例年のとおりの山田講師（東京在住）による研修会の開催が、後半期から再開されたが、リモートでの研修となり、対面での施設内研修会が、十分実施できなかった。

外部のリモートで実施している研修・過去の振り返り研修などを実施した。

- ・ 介護従事者の人材の質向上（教育の充実）
- ・ 育成の為の教育
人材育成に必要とされる模範となる、期待される人材の基準・到達目標基準・
手順等の理解・実践の教育

- ・ 技術向上の為の教育
 - 看護師・介護 教育育成
 - 看護師・介護士としての姿勢の向上・看護・介護技術・考え方・視点の向上
 - 看護・介護士 業務改善
 - 看護・介護情報の共有 主治医への情報報告能力の向上等
 - 十分とは言えない。基本教育の徹底。

3 社会人・職業人・専門職としての人材育成

- ・ 社会人としての教育
 - 社会常識の確立した人材育成を目指す
 - 教育・能力開発を伴う教育の更なる徹底
- 職業人・専門職の教育
 - 職業倫理教育の徹底
 - 専門職として責任と比較の徹底

4 健全な経営 収益基盤の確立

- ・ 稼働率 数値目標

特別養護老人ホーム	99.9%
グループホーム	99.8%
ショートステイ	77%
デイサービス	67.3%

- 5 令和4年度

監督官庁	実地指導・第三者評価
医務室	須崎福祉保健所 立入検査 指定事項なし